



### 地球に暮らすだけかを思う

武田 美紀子

ゆっくりと、優しく暖かく、笑顔で。そんな豊かな時間が流れていた。  
マレーシアの中心都市、クアラルンプールからバスで2時間ほど、見えた景色はまるで森の中だった。たくさんの木が育ちサルや鳥など、色々な生き物が生き生きと生活している。そこで出会う人たちは皆、明るい笑顔で出迎えてくれた。ホームビジットに行った時のことだ。初めて出会う。お互いに違う言語を母国語とし、なかなか言葉が通じない。それでもどこか安心感があり笑顔の絶えない素敵な体験だった。  
快く村に歓迎してくれるのは何故だろうか。外国の人とした目ではなく、まるで家族の様に接してくれたのは何故だろうか。一人の人間として受け入れてもらったその村での思い出は、私の心の中に大切なものを残してくれた。きっと世界が平和であるためには国を知るだけでは足りないのだ。その国に住む人を知り、つながり、思うことが大切なのだ。私の感じた心安らぐ時間が世界中に広がってほしいと願う。  
まだまだ支援が必要な場所があった。支援を受けて発展しているところがたくさんあることを知った。  
たくさんの人とつながり、支えあえる世界に。JICA の研修で得た学びを伝えられる人になれるよう、今日も私はこの村を思う。